

●平成29年度施政方針

全国に向けて 奥州の名を発信

小沢昌記市長は29年第1回奥州市議会定例会で、本年度の市政運営の基本となる施政方針を述べました。その概要を紹介いたします。
●本庁政策企画課（内線415）

本年度は、新たな奥州市総合計画推進のスタートの年であります。

「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち 奥州市」を実現するため、二つの戦略プロジェクトを中長期的な取り組みに位置付けました。

この二つの戦略プロジェクトは、各分野を横断的に取り組むものであり、地域社会を構成する多様な「力」の結集と「協働」により、目指すべき本市を市民の皆さまと一緒に創りあげてまいります。

戦略① 人口プロジェクト

一つ目の戦略プロジェクトは「誇りと幸せを実感できるまちづくり」に向けた、人口プロジェクトです。

27年国勢調査の結果を見ると、本市の人口は12万人を割り込むとともに

付税の合併特例が段階的に減少少してきており、一般財源の確保は依然として厳しい状況です。

一方、歳出では、新たな総合計画の初年度であることから、人口減少対策などの喫緊の課題への対応や実施計画の実効性の確保が求められています。

今後も行財政改革の着実な推進とプライマリバランスの黒字化の堅持を原則とし、計画的かつ健全な財政運営に努めます。

行財政改革の推進

財政の健全化を確実に進め、新たな総合計画に基づく市政運営を持続可能なものにするためには、行財政改革は不断の努力で進めて行かなければなりません。

本年度からは第3次の計画である「行政経営改革プラン」に基づき進めてまいります。職員の意識改革と組織の適正化を図るとともに、公共施設の総合的な管理を進め、限られた経営資源である職員・組織、資産、資金、情報を最大限に活用しながら、優先施策の「選択」と資源の「集中投下」により、最少の経費で最大の効果を上げる行政経営の実現に努めてまいります。



に、人口減少率は県平均よりも高く、高齢人口の割合は、全国平均を5.7ポイントも上回っております。

観光資源やふるさとの名物など、本市が持つ魅力を最大限生かすとともに、生活利便性が高く、子育て環境に優れたまちの実現に取り組んでまいります。

戦略② ILCプロジェクト

二つ目の戦略プロジェクトは「世界へ発信するまちづくり」に向けた、ILCプロジェクトです。

ILCをさまざまな施策に積極的に取り入れ、国際科学技術イノベーション拠点の実現や文化、居住、就業、教育、医療などの充実を関係団体などの協力・連携の下、進めてまいります。

また、本年度を「奥州アピール」の年と位置付け、「いわて奥州きらめきマラソン」や「カヌージャパンカップ」、「台湾をターゲットとした観光戦略」などで、本市の名を全国へ発信してまいります。

協働の力を確かなものに

まちづくりの礎となる協働は「第2ステージ」に進んでいます。地域の特色を生かした個性輝くまちづくりに向けて、地域の核である地区振興会などの協働をさらに前進させるほか、市民公益活動団体からの地域課題解決に向けた提案を具体化できるよう、協働の仕組みづくりに力を注ぎます。

財政運営の健全化

歳入は、市税収入において景気回復の兆しが見られるものの、地方交

●平成29年度教育行政方針

学校教育環境の充実

吉田政教育委員長は29年第1回奥州市議会定例会で、教育行政方針を述べました。その概要を紹介いたします。
●市教育委員会事務局教育総務課（江刺総合支所・内線411）

本年を初年度とし、38年度までを計画期間とする次期教育振興基本計画においては、基本理念を「学ぶことが本市の伝統であり未来である」としてまいります。

生涯にわたる学習の中で、本市の伝統である「学ぶ」ことを常に念頭に置き、「知育・徳育・体育」の調和的な推進を図るとともに、未来を拓く人づくりを推進するため、それぞれの教育施策を着実に実施してまいります。

「生きる力」を育む 学校教育環境の充実

学校教育は、各学校の学校経営によって支えられています。児童生徒に生きる力を育むために、各学校の教職員が丸となって教育活動の充実を図っております。学校経営の充実のためには教職員が健康であることが大切です。そこで、学校教職員

- みんなで創る生きがいあふれるまちづくり
- 指定管理者制度導入地域への支援
- 協働の提案テーブルの普及・推進
- 地域を担う人材の育成
- いわて奥州きらめきマラソン開催
- 未来を拓く人を育てる学びのまちづくり

施政方針・部門別の主な重点項目

- 教育施設修繕、耐震補強事業の推進
- 知・徳・体のバランスのとれた学校教育
- 郷土への誇りと愛情を醸成する取り組み
- 健康で安心して暮らせるまちづくり
- 暮らし・安心応援室を核とした包括的支援
- 自立した子育てに向けた相談支援
- 検診を受診しやすい環境の整備
- 市立教育・保育施設再編計画の実行
- 豊かさの魅力のあるまちづくり
- 農地集積や耕作条件の改善を推進
- 農業生産・自然環境の保全活動への支援
- 外国人観光客の誘致促進と海外販路の拡大
- 創業環境の整備による創業率の向上
- 環境にやさしい安全・安心なまちづくり
- ハザードマップ作成など防災対策の充実
- 消防団員の確保対策を強化
- 国への放射線影響対策要望の強化
- 快適な暮らしを支えるまちづくり
- 幹線道路や生活道路の整備
- スマートインターチェンジの供用
- 水道事業次期経営計画の策定

跡の歴史公園整備については、外郭南門地区の復元整備を早期に実現するとともに、専門家委員会の意見を聞きながら整備後の利活用について検討し公開に向けた準備を進めます。

歴史的建造物の調査・研究、記録保存を図り、重要なものについては国登録有形文化財への登録を進めるなど所有者による保存活用を支援してまいります。

指定有形文化財については、保存管理を適切に行うため、所有者などに対し保存方法や周辺環境についての指導、助言を行うとともに、必要に応じて修繕の支援を行います。特に、劣化が懸念される重要文化財「旧高橋家住宅」については、修繕計画の策定を進めます。このほか、市内に存在する歴史的建造物について、後世に継承するための適切な保存管理に努めてまいります。

*全文は市HPでご覧いただけます。

奥州市 施政方針

検索

